

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【公開番号】特開 2019-217500 (P2019-217500A)

【公開日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【年通号数】公開・登録公報 2019-052

【出願番号】特願 2019-140403 (P2019-140403)

【国際特許分類】

B 0 1 J 29/70 (2006.01)

B 0 1 J 29/76 (2006.01)

B 0 1 D 53/86 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

F 0 1 N 3/022 (2006.01)

F 0 1 N 3/035 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 J 29/70 Z A B A

B 0 1 J 29/76 A

B 0 1 D 53/86 2 2 2

B 0 1 D 53/86 2 2 8

B 0 1 D 53/94 2 2 2

B 0 1 D 53/94 2 2 8

F 0 1 N 3/28 Q

F 0 1 N 3/022 C

F 0 1 N 3/035 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 25 日 (2020.9.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a . A E I 構造を有し、20 から 30 のシリカ対アルミナのモル比を有し、0 . 1 から 1.5 μ m の平均結晶サイズを有し、ハロゲンを含まないアルミノシリケートモレキュラーシープ、モレキュラーシープ材料の全重量に基づいて 1 から 5 重量パーセントの助触媒金属、並びにアルミナ、シリカ、非ゼオライトのシリカアルミナ、チタニア、ジルコニア、及びセリアから選択される成分を含む結合剤を含む、触媒組成物、並びに

b . 触媒組成物が、その上及び / 又はその中に配置されているパーティキュレートフィルター

を含む、排気ガスを処理するための触媒物品。

【請求項 2】

結合剤がアルミナを含む、請求項 1 に記載の触媒物品。

【請求項 3】

助触媒金属が銅及び鉄から選択される、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 4】

アルミナがガンマアルミナ及び / 又はシータアルミナである、請求項 2 に記載の触媒物

品。

【請求項 5】

結合剤がアルミナからなる、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 6】

フィルターがウォールフロー型フィルターである、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 7】

触媒組成物がフィルター上又はフィルター内のコーティングである、請求項 6 に記載の触媒物品。

【請求項 8】

コーティングが、フィルター上の表面コーティング、フィルターの表面に浸透するコーティング、又はそれらの組み合わせを含む、請求項 7 に記載の触媒物品。

【請求項 9】

コーティングがフィルター上の表面コーティングを含む、請求項 8 に記載の触媒物品。

【請求項 10】

コーティングがフィルターの入口側にある、請求項 9 に記載の触媒物品。

【請求項 11】

フィルターが、フィルターの出口側に配置されたアンモニア酸化触媒を更に含む、請求項 10 に記載の触媒物品。

【請求項 12】

フィルターが 40 から 75 % の空隙率を有する、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 13】

フィルターが少なくとも 70 % の効率を有する、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 14】

フィルターが少なくとも 30 % の細孔の相互接続容量を有する、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 15】

フィルターが 10 から 40 μm の平均孔径を有する、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 16】

触媒がウォッシュコートであり、ウォッシュコートが 92000 から 150000 g/m^3 の濃度でフィルター上に存在する、請求項 2 に記載の触媒物品。

【請求項 17】

A E I 骨格を有する前記モレキュラーシーブが、0.1 から 10 μm の平均結晶サイズを有する、請求項 1 に記載の触媒物品。

【請求項 18】

前記平均結晶サイズが、0.5 から 5 μm である、請求項 17 に記載の触媒物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

ウォッシュコートは、また、アルミナ、シリカ、非ゼオライトのシリカアルミナ、チタニア、ジルコニア、セリアのうちの又は複数を含んだ、充填剤、結合剤、安定剤、レオロジー重合調整剤、及び他の添加物等の非触媒成分を含み得る。特定の実施態様では、触媒成分は、グラファイト、セルロース、デンプン、ポリアクリル酸塩、及びポリエチレン等の細孔形成剤を含み得る。これらの付加的な成分は、必ずしも望ましい反応を触媒しないが、代わりに、例えば、その作動温度範囲を増大すること、触媒の接触表面領域を増大すること、基材に対する触媒の付着性を増大すること等によって、触媒材料の効率を改良する。好適な実施態様では、ウォッシュコートローディングは、0.3 g/in^3 より大

きく、例えば、 1.2 g/in^3 より大きく、 1.5 g/in^3 より大きく、 1.7 g/in^3 より大きく、又は 2.00 g/in^3 より大きく、かつ好ましくは、 3.5 g/in^3 より小さく、例えば、 2.5 g/in^3 より小さい。特定の実施態様では、ウォッシュコートは、約 0.8 から 1.0 g/in^3 、 1.0 から 1.5 g/in^3 、又は 1.5 から 2.5 g/in^3 の担持で、基材に塗布される。